

asian youth orchestra

アジアユースオーケストラ千葉公演 2026

待望の千葉初公演。アジアの選ばれし若き精鋭100名が集結
今この場所でしか出会えない、魂を揺さぶるシンフォニー

2026年8月20日(木)
19:00開演(18:30開場)

指揮：ジョセフ・バスティアン(首席指揮者)

Joseph Bastian, Principal Conductor

ピアノ・ソリスト：アンナ・ツイブレヴァ

Anna Tsybuleva, Piano Soloist

◆ ワーグナー：歌劇《タンホイザー》序曲

Wagner: *Tannhauser Overture*

◆ チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番

Tchaikovsky: Piano Concerto No.1

◆ シベリウス：交響曲 第2番

Sibelius: Symphony No.2



特別出演：株式会社龍角散
代表取締役社長 藤井隆太



千葉県文化会館 大ホール (JR外房線「本千葉駅」から徒歩10分)

入場料

全席 S席 4,000円
指定 A席 3,000円 B席 2,000円 (税込み)

4月14日(火)
発売

大学生以下・65歳以上は全券種とも500円引き。※都合により、曲目に変更になる場合があります

千葉県文化会館 TEL:043-222-0201

窓口(9:00~17:00)ただし発売日は10:00~窓口販売のみ
<https://yykl.ka-ruku.com/cbs-s/showList>

お問い合わせ
ご予約

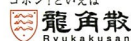
チケット取り扱い

■ チケットスペース 03-3234-9999 <https://ticketspace.jp>
■ チケットぴあ <https://pia.jp/> ■ イープラス <https://eplus.jp/>
■ ローソンチケット <https://l-tike.com/>

アジアユースオーケストラ日本事務局 <http://ayonihonjimukyoku.com>

※未就学児のご入場はお断りいたします。

Platinum Patron Official Travel Sponsor Tour Partner Concert Partner Logistics Partner



主催：アジアユースオーケストラ実行委員会

特別協賛：YKK

共催：日本経済新聞社 NIKKEI

後援：文化庁 公益財団法人 千葉県文化振興財団 千葉県教育委員会

協力：千葉テレビ 千葉日報社

100名のアジアユースオーケストラ (AYO) のメンバーは、中国、香港、台湾、日本、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの11カ国・地域での厳しいオーディションをくぐり抜け、天津Juilliardでの3週間のリハーサル・キャンプに続き、国際的に活躍する著名な指揮者やソリストとの3週間のツアーを行い、毎夏約6週間の活動をしています。

1990年以来、受賞歴のあるAYOは、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアで456の公演を行い110万人もの観客を魅了してきました。これまで17歳から29歳までの2.5万人もの音楽家がオーディションを受けてきました。

創立から36年でチェロ奏者のヨーヨー・マ、ミッシェル・マイスキー、ワン・ジャン、アリサ・ワイラー・シュタイン、ヴァイオリン奏者のゴドン・クレメル、ギル・シャム、エルマー・オリヴェイラ、ヤン・ウク・キム、諏訪内晶子、チョーリャン・リン、服部百音、ソプラノのエリー・アメリング、ピアニストのアリシア・デ・ラローチャ、セシル・リカド、レオン・フレイシャー、ジャン・ルイ・ストイアマン、ボザール・トリオらと共演しました。

また指揮者には、首席指揮者のジェームズ・ジャッド、名誉指揮者のセルジュ・コミッシューナ、アレクサンダー・シュナイダー、タン・ドゥン、オッコ・カム、マッティアス・バマート、ジョセフ・バステアンそして偉大な音楽家である故

ユーディ・メニューインと創設者リチャード・パンチャスを迎えてきました。ボルティモア響、ボストン響、パッファローフィル、アトランタ響、サンフランシスコ響、モネ響、トリプル・ヘリックス・ピアノ・トリオ、ボストン音楽院、ビーボディ音楽院、天津Juilliard音楽院などからの音楽家による指導を受けています。

2010年高松宮殿下記念世界文化賞若手芸術家奨励賞、2015年第20回日経アジア賞 (文化・社会部門) を受賞AYOは、中国本土においては海外からのどのオーケストラよりも多くの都市・地域でコンサートを行い、ベトナムでは過去50年において初の海外からのオーケストラ公演となりました。1997年に香港と北京でおこなわれた香港返還式では、タン・ドゥンの『交響曲1997』の世界初演でヨーヨー・マと共演しました。

ホワイトハウスや国連本部、ニューヨークのエブリーフィッシャーホール (デビッド・ゲフィン・ホール)、ハリウッド・ボウル、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、ウィーンのコンツェルトハウス、シドニーのオペラハウス、そして日本や東南アジアの国々で演奏して来ました。

音楽を志すアジアの青少年が、アジアにおいて自分達で音楽を作り上げることに誇りを感じ、有名アーティスト達との共演やツアーを経験することを通じて、優秀な才能が育まれ成長していくことを、AYOの真の目的としています。



ジョセフ・バステアン Joseph Bastian (首席指揮者)

2022年ツアーから、アジアユースオーケストラは、若い世代の最もエキサイティングな才能の一人であるスイス系フランス人指揮者のジョセフ・バステアンを首席指揮者に迎えています。ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツと国境を接する、フランスのロレーヌ地方の出身であり、スイス系フランス人の家族に生まれ、チェロ、トロンボーン、及び作曲を学び、ザール音楽大学ではトロンボーンを専修した後、グスタフ・マーラー・ユグント管弦楽団やミュンヘン交響楽団のアカデミーオーケストラのメンバーを経て、バイエルン放送交響楽団のバス・トロンボーン奏者を務めました。

最近の公演ではバイエルン国立歌劇場、ブレーメン・ドイツ響、ベルリンDSO、ヘッセン放送協会交響楽団、ルクセンブルク・フィル、イル・ド・フランス国立管弦楽団、バルセロナ・イ・カタルーニャ国立管弦楽団、ブラハ放送交響楽団、SWR交響楽団の指揮をしており、2022年にはチューリッヒ歌劇場でのデビューを果たし、ハイドンの『月の世界』の5公演を指揮しています。



アンナ・ツィブレヴァ Anna Tsybuleva (ピアノ・ソリスト)

グラモフォン誌から「卓越したピアノイズムと知性に満ちた音楽性」を体現すると評されたアンナ・ツィブレヴァは2015年のリーズ国際ピアノコンクールで優勝したことをきっかけに国際的な評価を得ました。インターナショナル・ピアノ・マガジンは彼女を「稀なる才能のピアニスト」と称えられました1990年、コーカサス山脈の小さな村ニージニー・アルビズ (人口500人) で生まれたツィブレヴァは、自然に囲まれた幼少期が、大ホールであっても観客を魅了する親密な演奏スタイルに深く影響を与えています。彼女の『ドビュッシー前奏曲全集：ザ・ビジュアル・アルバム』(2023年)はこの独自のアプローチを見事に示しています。

ツィブレヴァは6歳の時、母のもとでピアノを始め、後にモスクワの中央音楽学校、そしてリュドミラ・ロシナ教授のもとチャイコフスキー音楽院で学びました。『最優秀学生賞』を受賞して卒業 (2014年) 後パーゼルでクラウディオ・マルティネス＝メーネルに師事し、ドイツ・ロマン派レパートリーへの情熱を深めました。彼女はこれまでにアムステルダム・コンセルトヘボウ、チューリッヒのトーンハレ、ロンドンのウィグモア・ホールなど世界中の著名な会場で演奏を行ってきました。協奏曲のソリストとしてロイヤル・リバプール・フィルハーモニー管弦楽団、東京都交響楽団、フランクフルトHR交響楽団などのオーケストラと共演し、ユーリ・テミルカノフ、サー・マーク・エルダー、マリン・オルソップなどの指揮者と協力しています。

DSOベルリンとのブラームス『ピアノ協奏曲第2番』の録音 (Signum Classics, 2021年) は批評家から高い評価を受け、グラモフォン誌はその詩的な叙情性を称賛し、BBC ミュージック・マガジンは彼女の深い共感性に注目しました。2022年にはマリン・オルソップ指揮ロンドン交響楽団と共に新作ピアノ協奏曲の世界初録音に続いて、2024年リリースのドビュッシー『前奏曲集』に作成しました。故郷で「アルテルソーノ・フェスティバル」を創設し音楽と科学、宇宙探査を融合させています。ヤマハ・アーティストであるツィブレヴァは、「同世代で最も優れたピアニストの一人」(インターナショナル・ピアノ・マガジン) としての地位を確立し続けています。

ツアースケジュール AYO 2026

8/2 天津	8/12 ~ 13 ハノイ	8/20 千葉
8/4 北京	8/16 嘉義	8/21 厚木
8/7 ~ 8 香港	8/18 台北	8/22 東京